

KODAK PrintLink

デジタルインキキー算出ライセンス

PRINERGY/PRINERGY Evoオプション

安定したインキのコントロール
で品質アップとコスト削減



印刷機のインキツボプリセットに使用するPPFファイルを生成。
PPFファイルの活用により刷り出しの時間短縮や損紙の軽減を図ることが可能。

PrintLink機能

- 印刷機メーカーが提供するCIP3/CIP4 コンバータにPPF データを送信し、印刷機のインキツボ開度データを算出します。
- Prinergy/Prinergy Evo からのプレート・データ出力時に刷版内の画像面積率、およびプレビューデータをPPF データとして生成します。
- プレートと同時出力、PPF ファイルのみ出力のいずれの設定も可能です。

このようなお客様にお勧めします

- 刷り出し時間の短縮を図りたい。
- 熟練オペレーター以外でもインク量の調整ができるようにしたい。
- 最終調整に必要な損紙を減らし、コストダウンを実現したい。
- 出力操作と同時にインキツボ開度情報のデジタルデータを生成してフローを自動化したい。
- CIP3 または CIP4 インキリーダーが装備されていない印刷機でもプリセット情報を利用したい。

インキプリセットまでの流れ



(*1) PPFを変換するコンバーターはお客様が設備されている印刷機メーカーの製品です。詳細は印刷機メーカー、またはお取引のある代理店にお問合せください。

※コンバーターや印刷機のオペレーションスタンドが無い場合は手動でインキキーをプリセットできるインキレポート（数値情報）を書き出すことが可能です。



コダック ジャパン

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)

大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270

仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250

製品のお問い合わせ先 JP-GCG-products@kodak.com

2021-03



KODAK PRINERGYオプションPrintLink各種機能

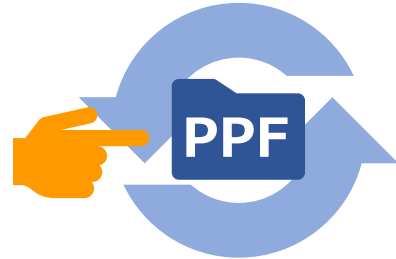
お客様の設備に合わせて最適なインキプリセットフローを構築します。

1 プレート出力と同時に出力



CTPセッターへプレート出力の指示をすると、同時にコンバーターへPPFファイルが送信されます。

2 算出ファイルのみ再出力可能



プレートを無駄にすることなく、簡単操作でファイルのみ再出力することができます。

3 CIP3対応機器以外でも利用可能

Digital Ink DATA
Job Name: KODAK test-730x600.1 SIG001, Job Code:

FRONT INK ZONES DATA (%)

Zone	Cyan 0007-A6F4	Magenta 0007-A83D	Yellow 0007-A96C	Black 0007-AAA8
1	0	0	0	0
2	0	0	0	1
3	18	16	17	8
4	22	21	24	8
5	24	23	25	8
6	22	22	23	11
7	23	22	26	12
8	26	26	28	11

PPFファイルを元に印刷機のインキユニット数に応じた数値を算出。インキレポートテキストで確認できます。

4 印刷フローの標準化に有効



印刷絵柄に合わせたインキキー開度設定が可能になり、印刷フローの標準化を図ることができます。

5 省力化・時間短縮・コスト削減



熟練オペレータ限定の作業を軽減し、品質の安定化だけでなく作業時間短縮とコスト削減を実現します。

6 印刷機付属機器の特性にフィット



海外メーカー・国内メーカー、新旧に関わらず、多様な印刷機側の特性に合わせたファイル出力が可能です。



コダック ジャパン

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)

大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270

仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250

製品のお問い合わせ先 JP-GCG-products@kodak.com

2021-03